

新型コロナウイルスとともにインフルエンザウイルスにも 「かからない」「うつさない」対策を実践しましょう！



毎年12月から3月にかけてインフルエンザウイルス感染者が増加します。昨年度は、新型コロナウイルス対策として感染症対策が広く普及し、例年よりも感染者が減少しましたが、それに伴い、今年度はインフルエンザウイルスに対する免疫のない方が増加し、ひとたび流行すると大流行となるおそれがあります。現在、新型コロナウイルス感染症の流行に落ち着きが見られますが、同時流行を防ぐため引き続き感染症対策をお願いします。

インフルエンザウイルスと新型コロナウイルスはどう違うの？

	インフルエンザウイルス	新型コロナウイルス
感染経路	飛沫感染または接触感染	飛沫感染または接触感染
特徴的な症状	38度以上の急激な発熱 全身症状(関節痛・全身倦怠感など) が現れる	発熱、鼻水、咳に加えて、 味覚・嗅覚障害を伴う
ほかの人にうつす 可能性がある期間	発症前日から発症後3～7日間	発症2日前から発症後7～10日間

どちらの感染症も発熱、鼻水、咳などの普通の風邪のような症状は同様にみられるため、特徴的な症状がない場合、鑑別が難しいのが現状です。新型コロナウイルスの場合、特に発症の直前・直後がウイルスの排出量が多いため、知らず知らずのうちに感染を拡大させてしまう恐れがありますので、少しでも体調に異変を感じたら、学校や仕事は休み、外出は控えましょう。

効果的な感染症対策は？

どちらの感染症に対しても、基本的な感染予防策が有効です。



基本対策(距離の確保・手指消毒・換気・マスク着用)も忘れずに！

ワクチン接種をしましょう！

インフルエンザウイルス・新型コロナウイルスそれぞれに対し、発症および重症化予防に有効なワクチンがあります。2つのワクチンを同時に接種することはできません。異なる種類のワクチンを接種する場合は、2週間の間隔を空ける必要があります。また抗体がつくまでに1カ月程度時間を要しますので、流行が始まる前に、できるだけ早めに計画的に接種しましょう。

■町の接種状況(接種率)

(単位：%)

	インフルエンザウイルス ※1		新型コロナウイルス ※2	
	高齢者 (65歳以上)	子ども (1歳から15歳まで)	高齢者 (65歳以上)	12歳から64歳まで
1回目	66.5	47.6	95.9	95.6
2回目			89.3	88.0

※1 令和2年度実績

※2 令和3年11月10日時点